

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)TRIAL上里店新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
		Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境			0.40		-		2.6
1 音環境		1.8	0.15		-		1.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-		
1.2 遮音		1.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		1.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能			-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-		
1.3 吸音		1.0	0.20		-		
2 温熱環境		1.9	0.35		-		1.9
2.1 室温制御		2.8	0.50		-		
1 室温		3.0	0.50		-		
2 外皮性能		2.0	0.17		-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33		-		
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-		
2.3 空調方式		1.0	0.30		-		
3 光・視環境		3.0	0.25		-		3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.50		-		
1 屋光率			-		-		
2 方位別開口			-		-		
3 屋光利用設備		3.0	1.00		-		
3.2 グレア対策			-		-		
1 屋光制御			-		-		
3.3 照度			-		-		
3.4 照明制御		3.0	0.50		-		
4 空気環境		3.6	0.25		-		3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質	使用する建築材料は全てF☆☆☆☆	4.0	1.00		-		
4.2 換気		3.5	0.30		-		
1 換気量		3.0	0.50		-		
2 自然換気性能			-		-		
3 取り入れ外気への配慮	・汚染源の無い方位 ・給排気6m以上の離れ	4.0	0.50		-		
4.3 運用管理		3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能			0.30		-		3.1
1 機能性		2.9	0.40		-		2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性			-		-		
2 高度情報通信設備対応			-		-		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30		-		
1 広さ感・景観	店舗(1)(2)(3):5.48m(平均)	5.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33		-		
3 内装計画		1.0	0.33		-		
1.3 維持管理		3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種類以上にB以上を使用し、Eは不使用 給水:硬質塩化ビニル管 B 汚水雑排水:硬質塩化ビニル管 B	5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.563m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.06	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.92	3.7	0.20	-	-	3.7
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.68	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		主要水栓に節水コマ・自動水栓を採用。加えて、節水型器具を標準としている	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		・躯体と仕上げ材が比較的容易に分別可能(LGS下地) ・内装材と設備が錯綜せず、容易に取り外すことができる(LGS下地)	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発砲剤を用いた断熱材を使用していない(グラスウール)	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:73%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止		燃焼器具無し(電気温水器)	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	大店立地法を満たす(駐車場・駐輪場・荷捌き車両など)	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明:『光害対策ガイドライン』の項目の過半を満たす 広告塔照明:『広告物照明の扱い』の項目の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	